

1 背景

- (1) 国の「骨太の方針（R3.6）」において、ポストコロナの持続的な成長基盤を作っていくため、**グリーン・デジタルなどの成長分野の取り組みの強化**や、**イノベーションを喚起**することを明記
- (2) R3.6月のフォローアップ委員会において、「**さらなる地産外商が必要**」との指摘（**県際収支（移輸出額－移輸入額）：▲5,930億円（H27産業連関表）**）

➡ **本県の産業振興計画においても、ポストコロナや一層の地産外商を見据えた見直しが必要**

2 視点

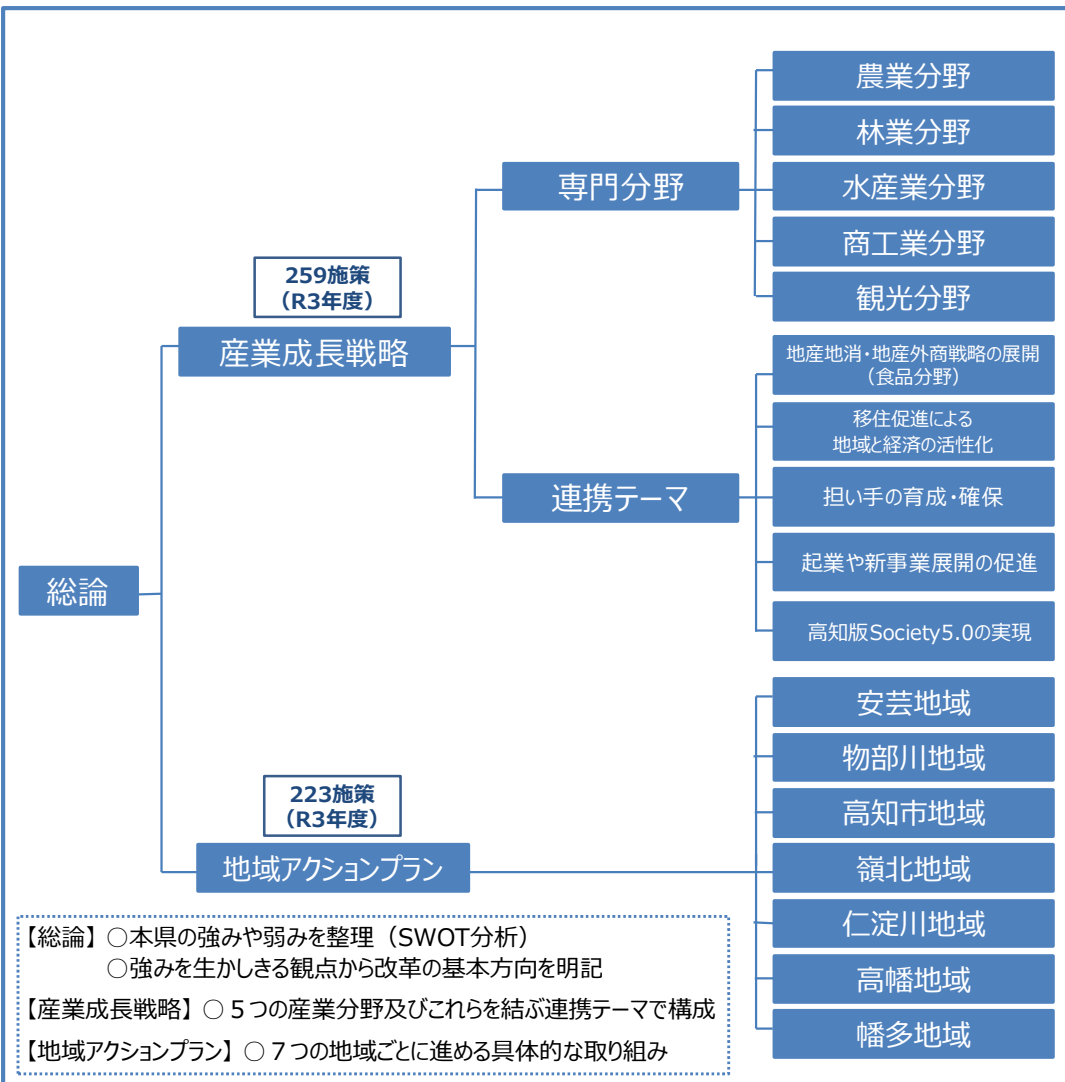
- (1) 県政の重点課題でもある「**デジタル化**」、「**グリーン化**」、「**グローバル化**」といった視点を産業振興計画に取り込んでいく
- (2) 県内外から多くの人材や知恵、資本などを呼び込み、**産学官民連携による取り組みを加速化**していく
- (3) 持続的な経済成長に向け、**新たな産業づくりに挑戦**していく（イノベーションの創出）
- (4) 持続可能な社会の実現を目指し、**SDGsを意識した産業への転換**を図っていく

3 見直しの内容

上記の視点を踏まえ、以下のとおり**連携テーマ**を見直し

○ **分野を超え、産学官民の連携を一層強め、重点的に取り組む必要のあるものを「プロジェクト」化**していく

産業振興計画の構成



NEW

5つの「連携テーマ」と「プロジェクト」（案）

NEW					連携テーマのプロジェクト化を図り、プロジェクトを中心に議論 〔※それぞれのプロジェクト（PJ）については、今後、随時追加していく〕	地域 A P				
農業分野	林業分野	水産業分野	商工業分野	観光分野						
3つのキーワードのもと、 連携テーマを設定					既存の連携テーマを整理					
							① デジタル化の促進	◇ IoP推進PJ … 農業、産振、商工	◇ スマート林業推進PJ … 林業、商工	◇ 高知マリンイノベーションPJ … 水産、商工 等
							② グローバル化の促進	◇ 土佐酒輸出拡大PJ … 産振、農業、商工、土木	◇ 土佐材輸出拡大PJ … 林業、土木	◇ インバウンド推進PJ … 観光、土木 等
							③ グリーン化の促進	◇ 資源循環高度化PJ … 林業、農業、水産	◇ プラスチック代替素材活用PJ … 商工、林業 等	
							④ 外商活動の全国展開	関西経済連携		◇ 観光PJ・地産外商PJ、万博IRPJ … 産振、観光、商工、農業、林業、水産、中山間
⑤ 担い手の育成・確保	移住促進	外国人材確保	事業承継	起業・新事業展開						